

（ 最 終 ） 契 約 変 更 の 内 容

契 約 変 更 年 月 日	令 和 7 年 1 月 31 日				
契 約 業 者 名	一般財団法人沿岸技術研究センター				
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区西新橋1-14-2				
業 務 の 名 称	令和6年度管内技術課題検討業務				
業 務 場 所	—				
業 種 区 分	建設コンサルタント等				
業 務 概 要	業 務 名 称	業 務 内 容	単 位	数 量	摘 要
	計画準備		式		
	技術課題の検討	気候変動適応策に関する検討			
		資料収集・整理	式		原契約のとおり
		気候変動に適応した既存港湾施設の試験計	式		
		既設構造の確認	式	1	
		将来外力の推定	式		
		事前適応策の検討	式		原契約のとおり
		順応的適応策の検討	式	1	
		現況における対策断面の検討	式	1	
		事前適応策と順応的適応策の比較検討	式	1	
		気候変動適応策の取りまとめ	式		
		多重非線形効果を考慮した耐震照査に関する検討	式		
		設計条件の設定	式		
		偶発状態の地震応答解析	式		
	検討会の設置・運営	検討会の開催 検討会資料の作成	回 回		
	協議・報告	協議・報告	回		原契約のとおり
	照査	照査	式		
	成果物	業務完成図書作成 公開用成果品作成	式 式		
工 期 （ 自 ）	令 和 6 年 5 月 27 日				
工 期 （ 至 ）	令 和 7 年 3 月 14 日				
変更前の契約金額	48,400,000 円（税込み）				
変 更 金 額	1,485,000 円（税込み）				
変更後の契約金額	49,885,000 円（税込み）				
変 更 理 由	別紙のとおり				

変更理由	①防波堤の検討について (1) 気候変動に関する検討において、現況断面の安定性の不足が判明し、対策断面検討の追加が生じた。 (2) 気候変動に関する検討において、将来外力に関する条件の追加 1) 現況断面の対策断面検討に必要な現況の外力条件 2) 防波堤の安定性の経年変化を算出し、安定性が不足する時期を精度よく把握するために必要な沖波波高増加の最終年である2040年の外力 ②岸壁の検討について (1) 気候変動に関する検討において、将来外力の推定における照査用震度の算定の追加及び波浪変形計算方法の変更 1) 照査用震度の算出の追加が生じた。(岸壁(栈橋式)のみ) 2) 波浪変形計算は、エネルギー平衡方程式を想定していたが、高山法での算定に変更した。 (2) 気候変動適応策に関する検討において、順応的適応策の検討を実施しない。 ③ 検討会開催にかかる委員への謝金・交通費の金額が確定した。
------	---